

金融市場NOW

7月米国消費者物価は市場の予想どおり

個人消費支出価格指数は6年ぶり高水準の2.3%上昇

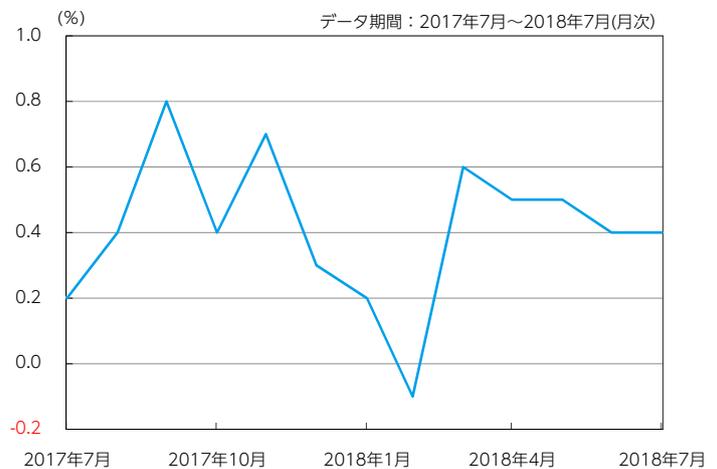
- ✓ 個人消費支出 (PCE)価格指数が市場の予想通り前年同月比で2.3%上昇。個人消費支出も前月比で0.4%増加。米国民の底堅い消費行動を確認。
- ✓ 景況感を示す経済指標は強弱まちまちなことから、過熱しすぎない景気と堅調な物価上昇から金融当局は穏やかな利上げサイクルを継続し、投資家にとっては“心地よい”経済環境が継続。

- 8月30日に公表されたFRB(米連邦準備制度理事会)が重視する7月のPCE価格指数が2.3%上昇(前年同月比)、食品・エネルギーを除いたコア指数も2.0%上昇(同)と目標とする2%に到達しました。市場の予想通りの結果で約6年ぶりの高水準となりました。
- 詳細を見ると、個人消費支出が0.4%増加(前月比)でサービスへの支出が増加しています。消費支出の増加傾向は3月以降継続し、米国民の底堅い消費行動が確認されました。一方で耐久消費財への支出は減少傾向にあります。7月新車販売台数の減少等が背景にあると想定されます。
- 8月31日に公表された景況感を表す8月ミシガン大学消費者態度指数(確報値)は96.2と7ヵ月ぶりの水準に低下しました。詳細を見ると現在景況感指数の低下が目立っており、物価や金利の上昇懸念が背景にあると思われる。1年先のインフレ率見通しは前月より0.1ポイント上昇し3.0%と約4年ぶりの高さとなりました。先に公表されたコンファレンスボードの消費者信頼感指数が約18年ぶりの高水準となったことは対照的な結果となりました。
- 9月25・26日に開催予定のFOMC(連邦公開市場委員会)では今年3回目の利上げが想定されており、7月のPCE価格指数は高い伸びとなったものの、目標近辺で安定的に上昇しており、また、足元景気の過熱感も強くないことから、穏やかな利上げサイクルを継続できるものと思われる。市場の関心は声明文からの「緩和的」という文言の削除や再投資により保有している債券の圧縮の影響などに移りつつあります。景況感を示す指数は指数によって強弱が入り混じる結果となっており、投資家は景気の過熱しすぎを懸念することなく投資できる“適温経済”の継続を感じとっているものと思われる。米国の貿易政策の行方や米国金利上昇による影響などで新興国通貨が下落し、世界経済への影響が拡大していくことには注意が必要ですが、当面米国株にとっては概ね良好な投資環境が続くものと思われる。

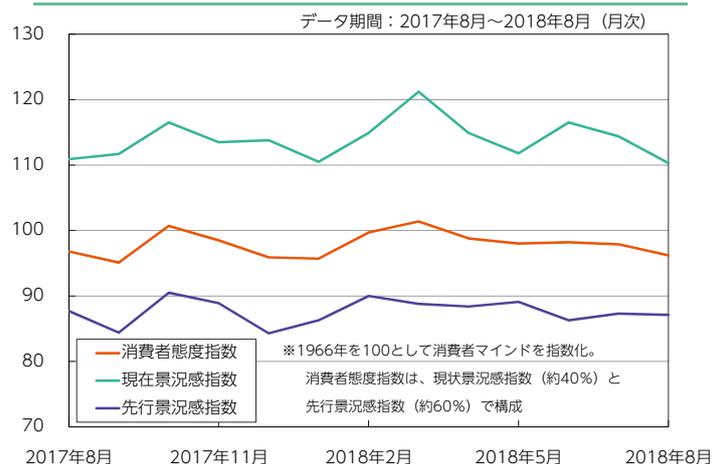
図表1：直近5年のPCE価格指数の推移



図表2：個人消費支出(前月比)の推移



図表3：ミシガン大学消費者態度指数の推移



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>